



健康相談

血圧・体重・体脂肪率・体内年齢などの測定と尿検査ができます(禁煙相談、栄養相談のみ要予約)

日時 7月14日(木) 午後1時30分～3時

場所 保健・福祉合同庁舎

申込・問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7091

石綿読影の精度に係る調査

過去に石綿(アスベスト)にばく露した可能性のあるかたに対し、健康管理に役立てていただくため、環境省の委託を受け石綿読影の精度に係る調査を実施します。

対象 次の①～④のすべてにあてはまるかた(呼吸器疾患で医療機関を受診する必要があるかたは対象外)

- ①現在本市に住民票がある
 - ②調査内容を理解し、調査への協力を同意できる
 - ③指定医療機関で検査を受けることができる
 - ④胸部レントゲン検査(集団検診)画像を提供できる
- 内容 問診・胸部レントゲン・必要時喀痰検査
- 費用 無料(喀痰検査は500円)
- 申込 氏名・生年月日・電話番号を、電話・ファックスで
- 締切 6月30日(木)
- ※検診日など詳しくは申込者へ後日ご案内します。
- 進捗 問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7091
- FAX 072-433-7005

新型コロナウイルスワクチン4回目接種

4回目接種は、3回目接種から5カ月経過している①～③のかたが対象となります。

①60歳以上のかた

→3回目接種の時期に応じて順次、接種券を発送しています。

②18～59歳のかたのうち、基礎疾患があるかた

③18～59歳のかたのうち、重症化リスクが高いと医師が認めるかた

→3回目のワクチン接種から4～5カ月を経過し、4回目の接種を希望されるかたは、接種済証をご用意の上、以下のコールセンターへご連絡ください。申請されたかたへ、3回目接種から5カ月を経過した頃に接種券を送付します。

貝塚市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター
フリーダイヤル ☎0120-729-722
平日・土日祝日 午前9時～午後5時30分

※障害などで電話連絡が困難なかたは、氏名・生年月日・ファックス番号を、ファックス(072-433-7016)してください。

使用するワクチン ファイザー社製、モデルナ社製(今後、国の方針により変更になる場合あり)

問合せ先 健康推進課 ☎072-433-7047

※この記事は5月16日時点の情報をもとに作成しています

リフォーム・解体工事は適切な石綿対策を行う業者に発注を!

工事を発注するみなさんにも配慮義務が生じます!

個人所有の家屋・マンションも含め、建築物のリフォームや解体工事を行う場合は、事前に石綿の有無を調査する必要があります。工事を発注する時は、次の配慮をお願いします。

- ①石綿の有無の調査に必要な設計図や過去の調査記録などがあれば、施工業者に提供してください。
- ②施工業者が石綿調査や工事作業の記録作成に必要な写真撮影を許可してください。
- ③石綿の調査や、石綿が使用されていた場合の除去作業を適切に行うための必要な費用負担や工期確保について、配慮してください。



詳しくはこちら

発注の際に確認してください!

リフォーム・解体工事を発注する時には、石綿の調査・報告費用が計上されていることや、資格者が調査することを施工業者へ確認してください。

問合せ先 岸和田労働基準監督署 安全衛生課 ☎072-498-1013

消防

全国危険物安全週間 6月5日(日)～6月11日(土)

身の安全を守るには、燃焼・火災の危険性を理解し、適切な対応を講ずることが重要です。また、火災発生時の初期消火や避難行動の重要性も認識してください。

大雨に備えて、火災に注意してください。大雨による土砂災害や浸水被害に備え、避難経路を確認し、必要に応じて避難してください。

問合せ先 消防本部 ☎072-433-7091

感染症と共に

2019年12月に、中国の武漢で報告された原因不明の肺炎は、新型コロナウイルスがひきおこしたものと判明し、約2年半経った現在でも世界中を混乱に陥れています。収束の兆しはなかなか見えてきませんが、振り返ってみれば感染症と人間の付き合いは相当長いようです。

エジプトのミイラから天然痘に感染した痕跡が発見され、中世ヨーロッパにおいては人口の3分の1がペストに命を奪われたといわれています。感染症に対抗するために、ワクチンや抗生物質など治療法が進化し、これらの困難を克服してきた歴史がありますが、感染症自体が、社会のありようにも影響を与えてきた経緯もあるようです。

18世紀半ばから20世紀初頭にかけては、植民地にするべくイギリス軍がインド諸国の軍隊と争いを繰り返していましたが、紛争の際インドの風土病であったコレラが、イギリス軍を介して瞬く間にヨーロッパ社会に広まりました。当時ヨーロッパは様々な面で最先端の都市でしたが、排せつ物などの汚水処理が十分でなかったためでした。その後、都市の改造や建設は、政策として計画的に行われるようになり、現在の都市計画の端緒になりました。

感染症との付き合いはこれからも長きに渡って続きそうです。新型コロナウイルス対策としては、引き続き3密を避けるとともにマスクの着用を心掛け、やむを得ない事情が無い限りは、ワクチンを接種しましょう。



貝塚市医師会 ☎072-423-4130

古いものと新しいもの

携帯電話がスマートフォンに移り変わり、以前の携帯はガラケーと呼ばれるようになって今やその数は極めて少なくなっています。何もかも、新しいものが優れていて古いものは廃れていくのでしょうか。

歯が無くなり、噛むことが出来なくなった箇所新しく歯を入れて噛む機能を補うことを補綴(ほてつ)といいます。その補綴治療で、現在最新の技術といえばインプラントです。

インプラントは、手術で人工の歯根を顎(あご)の骨に埋め込み、そこに冠や義歯を取り付ける治療方法です。欠損の歯の数は1本から顎全部まで幅広く適応できます。大変優れた最新の治療ではありますが、現在の歯の補綴治療はインプラント、義歯、冠やブリッジが共存して選択されており、古くからの技術である義歯や冠が廃れていく気配はありません。それはなぜでしょうか。

まず、全身的な病気でインプラントの手術ができないかたは、義歯や冠を選択します。

また、自費治療なので金額の問題もあります。介護の必要なかたは、取り外しが可能な義歯の方が日々の口の清掃やケアが行き届くものです。

つまり、歯の補綴治療の中では最新の技術と100年近く前からの義歯や冠などのロングセラー治療が共存し、我々歯科治療に携わるスタッフが、個々の患者さんに応じた治療をその中から選択するのが実状です。



貝塚市歯科医師会